

第6回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会

日 時 平成31年2月14日(木) 午後6時30分～午後7時42分

場 所 第二庁舎8階 801会議室

出席委員 7人

委員長	渡 邊 嘉二郎	委員		
委員	松 本 敏 朗	委員	鴨 下 明 子	委員
	橋 田 壤 志	委員	本 間 紀 行	委員
	小 宮 貴 大	委員	天 野 建 司	委員

欠席委員 2人

副委員長	小 川 順 弘	委員
委員	沼 崎 明 大	委員

事務局職員

企画政策課長	梅 原 啓太郎
企画政策課企画政策係長	古 賀 誠
企画政策課企画政策係主任	金 原 真紀子

傍 聴 者 2人

(午後6時30分開会)

◎渡邊委員長 ただいまから第6回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を開催したいと思います。

本日は次第にありますとおり、3つの議題が予定されております。初めに議題1「新たな計画策定に向けた意見について(意見書(案)の作成)」を議題とします。事務局からの説明を求めます。

◎古賀企画政策係長 資料を御覧ください。

今年度の御議論を基に事務局で作成した意見書(案)となります。1ページ目はこの間の委員会の中で出た議論を基に3つの項目立てで箇条書きにしております。また、項目1につきましては、第4回の委員会において委員の皆様から出していただいたフレーズを基に第5回の委員会において6つのグループにまとめ、それぞれのグループについて御発言いただいた内容を委員名とともにそのまま箇条書きにしております。なお、資料に網かけで記載しておりますが、最終的な意見書では委員名を削除する予定です。

◎渡邊委員長 事務局から説明がございましたが、何か御質問があれば伺いたいと思います。

(「なし」の声あり)

◎渡邊委員長 それでは作業を始めたいと思います。

なお、本日の委員会記録は全文記録となりますので、必ず御発言前に御名前をおっしゃっていただくようにお願いします。

また、前回欠席された委員の方もいらっしゃいますが、前回の委員会の前段で松本委員の方から計画の進め方に係わる御報告がありまして、いろんな本を読まれて勉強されて、小金井市の物事を進める時の進め方、計画を進める時の進め方を御意見として受けました。それは新たな計画策定に向けての意見ということで、市の中でこなしていただくということだろうかと思えます。

意見書についていかがでしょうか。この中にこういうのも入れておいた方がいいとか何かあれば御意見ください。

◎鴨下委員 すばらしいなあと思いました。

◎渡邊委員長 何かこんなものを付け加えたいとかありませんか。

◎鴨下委員 特にありません。

◎渡邊委員長 橋田委員が前回の委員会で言われたのが、散歩したくなるまち、最後の方で高齢者が高齢者と思わないまちということと言いたかったんだと思いますけど。

◎橋田委員 他市との差別化を行うために同じような高齢者対策を行うのではなく、他市がしていないような、例えば元気な高齢者にターゲットを絞った、あまり階段とかを減らすことはせずにまちづくりを行うというような差別化ができればというような意見を言いました。

◎渡邊委員長 何かここで付け加えたいことはありますか。

◎橋田委員 ありません。

◎渡邊委員長 松本委員、何かございませんか。

◎松本委員 記の下に3つ並んでますが、順番に言いますと、未来の小金井市をイメージした上で、新たな計画を策定することと書いてありますが、必要なことは現状をきちんと見つめることと環境がかなり変わっていくということをここに入れることが必要だと思います。意見書を受ける方では、まあ、そういうのを踏まえて計画を作るのであれば作るんだろうなあということでしょうから、前提が落ちているのが1点です。

◎渡邊委員長 1番目のところに現状分析をきちんと進めた上でというような言葉を入れた方がいいんじゃないかという御意見ですね。

◎松本委員 だから、柱書にそういうのを少し補足していくというのはありかと思います。全体的話がありますから、今はコメントするだけで整理はまた追って話をします。

◎渡邊委員長 この間の話でも現状分析をやらないとだめだという話がありましたね。

◎松本委員 そうです。それからイメージに関する意見というのが付いてるんですけど、これは選挙公報も真っ青になるくらいバラ色のイメージが並んでるだけで、あまり意味がないというのが1点です。それと、審議会では私も発言をしてるんですが、私の発言というのは一切入っていないというのは事務方のまとめ方の姿勢としていかがなものか。普通はこういうまとめ

方はしない。これが2点目です。

それからこういうふうに並べていって、これが果たしてどういう意味があるのかという話ですね。これをもらって、もらう方はどういうふうに使っていいのか分からない。場合によってはもう少し抽象度を上げて書いておくというのはあるかもしれませんが、分かりませんが、もうちょっとその辺を考えなければならないと思うので、少なくとも今のままのイメージのこの紙が付いていくんだったら多数決を取ってくださいというのをお願いしておきます。

それから現指標というのをどうするかというのは、何回かにわたってK P I 指標をずっとやってきましたけど、その途中で問題点を提起していますよね。そもそもこういう方式がいいのかどうかという基本的なところも問題としてあって、あれを国が進めているからやってるんだという話かもしれませんが、そのやり方自体が否定されているところがあるわけですから、こういう小さいまちでやるに当たってはもうちょっと違うことを考えてもいいのかなあとと思います。

それで、審議の中で何回か言ったんですけど、現状のK P I 方式で項目が並んでいるのは何となく役所の、担当ごとに括って、まあそれでやりましようねっていうような、いわば便宜的な要素が非常に多く、中には必要な要素もあるけれども、それぞれの所管のところとしてやるべきことを明確にするのがスタートだからという、一種の役所的な発想で作られているというのが第一の問題かなと思います。

あとはそれを守ったからと言って、「A」を獲得したからと言って、それが小金井市の市民にとってどれだけの利点として跳ね返っていったのかというそここのところが見えないのが多いので、項目自体も大幅に見直すべきであるというのが2点目です。ちょっと全部は忘れましたが、その2点を中心に審議の中でも発言させていただいてきたと思うんですけど、相変わらずこの2点については基本的にはそういう問題意識を持っていますから、ここに書かれているようなコメントでは弱いなあというふうな気がします。

それから3点目は参加とかいろいろと言葉は並んでいますけど、この言葉で一体何を言わんとするのかというのがないと単なる題目に過ぎないので、ほぼこれも1番と同じで意味がないだろうと。もうちょっと参加とは何か、協働とは何かというのを具体的にイメージできるようなものをきちんと付けるのならいいですが、何も付けなくてこういう題目だけ並べるといのはあまりいいことではないと思います。1番とほとんど同じ発想です。

序に、計画案策定に関して一言いいでしょうか。長期計画を作る時には、たぶんコンサルが入ってくると思うんですけど、コンサル任せにしないで、最初の段階から、市民や市民団体が係わっていくような方策を考えていくことが必要ではないかと思います。具体的なやり方というのはいろいろあるでしょうけど、ヒアリングとか調査とかそういうものを地道にいろいろやって、この小金井市の12万のまちの実態というものを掴んだ上で、また各地での取組も参考にしながら、小金井にふさわしい、切ったら血の出るような目標作りをしてもらいたいと思います。その点についてコメントとして残しておくような工夫をしていただければありがたいな

あとというふうに思います。

◎**渡邊委員長** 次期の計画を作る時にはコンサル頼みではなく、市民が中心になって市民が参加していくような格好でやっていただきたいということですね。

◎**松本委員** そうです。

◎**渡邊委員長** それは確かにそのとおりですね。

◎**松本委員** 最後にもう1点は、市役所が、市行政当局が、どういうスタンスでこの仕事に向き合っていくのかを明らかにしてもらいたいと思います。

市役所として総花的にメニューが載っていればいいじゃないかって立場じゃないはずなんです。だから、それは何回も繰り返しているように、名称は忘れたんですけど、「行財政改革2020」ってのがあるんですけど、どこかで必ずああいうところは乗り越えていかないといけないテーマだと思います。行財政改革は今回の総合戦略の中に一体のものとして位置付けていかなければならない話ですので、その点についてもマークしておいていただければというふうに思います。

◎**渡邊委員長** ありがとうございます。小宮委員はいかがでしょう。

◎**小宮委員** 今の松本委員の話を聞いていて、おっしゃるとおりだなと思いました。なかなか難しい部分はあると思うんですけど、私もぱっと意見書（案）を見たときに簡素だなと思ったんです。意見するわりにはこれっという文章だったので、もう少し肉厚じゃないですけど、せっかく我々で貴重な時間を使って議論しているのであれば、やはりもう少し肉が付いたようなものがあるといいのかなと思います。私も作る立場になると、それを言われるときついんですけど、そこはもう少し肉が付いているような意見書にしていった方がいいのかなあとというふうに思いました。

あとは目指すべきイメージのところも同じような言葉が並んでいて、キャッチフレーズのようなものが並んでいるような作り込みになっているので、もう少しすっきりするような似たような文面は整理した方がいいのではないかと思います。

◎**渡邊委員長** これは前々回、いろいろと出してもらったものをまとめるとこんな言葉になるのかなあとということで出てきたもので、最終的にはここでまとめる必要があるかどうかは別として、私がいろいろな表現があった方がいいかなということで書いていったのがそのまま載っているということです。

◎**小宮委員** 多分、これができ上がるときにはもう少しすっきりするのか分からないですけど、少し整理した方がいいのかなというイメージを持ちました。

◎**渡邊委員長** どう整理をした方がいいという考えはありますか。

◎**小宮委員** 多分、前々回に出したときは、もう少し具体例を言って、それをもう少し大きくした括りで作り直した形だと思われるので、こういう書き方にどうしてもなっちゃうのかなあとと思うんですけど、イメージだと「〇〇なまち（こういうことがいいな）」というのを加えてもおもしろいかなと思います。

◎渡邊委員長 この背景に小さな言葉を入れるということですね。

◎小宮委員 章のものを少しエッセンスとして加えてもいいのかなと思います。このままだと何か漠然としたイメージのまま書類ができ上がってしまうと思ったので、ワークショップでは何でも言いたい放題だったと思うんですけど、何かちょっとおもしろいワードが結構あったと思うので、もう少しイメージしやすいワードを入れるともう少しイメージがわくと思います。

◎渡邊委員長 前回、「〇〇なまち」っていうのを委員会で作るというミッションだったんですけど、できなかったんですよ。言いたいことだけ言って終わってしまったので、それが反映されているわけです。

◎小宮委員 先ほど松本委員が言われましたけど、できるかできないかはあれですけど、こういうイメージ、こういうまちがいいというものを少し、我々が話し合った中ではこういうものも将来的にできるとすばらしいまちになるよねっていうのが何かポンと入っているといいのかなと思います。

◎渡邊委員長 次、本間委員いかがですか。

◎本間委員 1の未来の小金井市をイメージした上で、新たな計画を策定ということで、目指すべき小金井市のイメージがいろいろと出されており、非常にいいことだと思いますが、何となくまちに対しての将来性とか発展性みたいなものが表れていないというか、あんまり感じません。現状はよく表現されていますが、私の仕事柄、明らかにこのまちは発展してきているんですね。人口も増え、駅前もいい意味で変わってきていますし、これからも変わっていくことがある程度の計画でできていて、今後も人口が増え、教育も変わっていきます。そういったことを感じさせるフレーズをちょっと感じなかったのが、そういったイメージをして、それを計画策定に向けた意見としてもうちょっと表現できればいいのかなという気はしました。前回参加していないので、すみません。

3の策定についてはいろいろと検討することとかあるんですけど、この5年、10年先に向けて目に見えていることもありますし、それに対して目指すべきものはいろいろあると思うので、もうちょっと具体性とか目標的なものを持たせたようなところを触れてそれについて検討するか市長に求めるとかそういうような内容になるといいのかなという気がします。将来のこととかこのまちの発展をもうちょっと目指した思いになるといいと思います。

◎渡邊委員長 意見書の中で1から3までありますが、何かこういう表現がいいとかありませんか。

◎本間委員 なかなか思い浮かびませんが、目指すべき小金井市のイメージの(4)のところは、これからマンションもできて余計に子育て世代が増えていくと思いますし、そういうところで目指すものとかを考えるといいと思います。

◎渡邊委員長 要するに将来ビジョンがクリアで目標がはっきりしていてそのステップが見えるような格好の表現を入れてほしいということですね。

◎本間委員 意見として提言するのであれば、そのように思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。次、天野委員。

◎天野委員 皆様、いろいろな御意見をいただきまして、ありがとうございます。確かに言われていることはそうかなというものがたくさんありました。

1番の「未来の小金井市をイメージした上で、新たな計画を策定すること。」なんですけど、この委員会では30年後ということで皆さんの御意見をたくさんいただきました。小金井の強みだとかこういうところがいいところだよとか、またはこういうところを残しておいてほしいだとかいろんな御意見をいただいて、市民の皆さんの生の声をいただいて、そういったものを次にどう生かしていくかということをもっと生のものを残した方がいいかなと思います。まあ、きれいな形でまとめてくれているんだけど、前回とかグループワークに出てきたようなものをピックアップして出した方がいいのではないかなというふうに思います。今までの基本構想という固い計画の中ではなかなか出てこなかったような特化した部分、渡邊委員長や小川副委員長がいらっしゃる関係もありますが、小金井の教育についてとか学びについてみたいなどころが出てきて、そういう部分は書いてあるんですが、そういったところの生のところで「小金井大学のような学びの場があるまち」とか「互いに学び合うことが可能なまち」とかいうワークショップで出た意見をそのまま資料で添付してもいいのではないかなと思います。

それから松本委員から行革2020を取り上げていただきました。ここも市民参加でやっている審議会なんですけど、行革の方も市民参加で作っていただいて、かなり行革で使わないような表現まで載せていただいているんですね。そういったことも、生の声をできるだけ次の策定に生かせるようなことを1番については検討したいというふうに思います。

それで指標については、確かにこれまで我々もいろいろと議論してどうだったのかという話をしてきました。やはりその指標自体がどうなのかという根本的な話もあるし、どういうふうにそれを活用していくのか、計画がどれだけ進んだのかというものはかる指標については改めて第5次基本構想を策定する中で行政経営システムを再構築していかなければならないという思いも我々も思っているので、そういったことも含めて書きぶりについては調整したいと思います。

3番のところ等々なんですけど、ここは総花的という御批判もあったんですけど、いろいろな施策、将来像に向けてどういう施策を進めていくかという進め方みたいところは出てきているのかなというふうに思います。今の第4次基本構想の将来像、「みどりが萌える・子どもが育つ・きずなを結ぶ 小金井市」をどう実現していくかということでいろんな福祉だとか教育だとかあるけれど、その進め方として第4次基本構想においての重要な進め方の一つとして参加と協働というのがあるんですね。市民の参加と市民の協働というような進め方があって、当然第5次基本構想を策定していくに当たっても行政だけでは当然物事は進まないし、やれることも限界があるという中で市民参加、そして市民協働又はもっと広く言えば企業だとかこの審議会でも度々出ている大学との連携、そういったものの様々な人たちと協働していくことが書いてあるのかなというふうに思います。そして、また大事なキーワードとして共生というの

が出てきているんですけど、我々も30年後の未来を考えていく中で暗くなりがちなんですけど、どうしても人口減少というようなところも踏まえながら考えてきたわけなんですけど、一人一人が互いに認め合って一緒に生きていって、みんなが活躍していくような社会、そういったことにしていかないと人口減少社会に対して小金井市が生き残っていけないのではないかと、いうようなところが出てきたのかなというふうに思います。

それから連携というところなんですけど、協働にも係わる話なんですけど、前回のワークショップのところでも小川副委員長から「つながり」とかいうようなキーワードが出てきていて、様々な人がつながりながら生きていくみたいなこと、小さなことと言えば地域社会で孤独なんてことが言われているんだけど、人と人とのつながり、温かさみたいなものが30年後の小金井市にあったらいいのではないかと、いうようなこともあったので、あった方がいいかと思えます。

それから愛着というのがあるんですけど、これとセットで誇りというのがあるんですね。小金井市に住んでよかった、小金井って本当にいいんだよって住んでいる人みんなが思えるようなことが、シティプロモーションにも係わることなんですけど、小金井愛みたいな、そういう思いの中で、これまでの皆さんの議論を聞いていても思ったということでキーワードに入っているのかなと思います。

いずれにしても先ほど簡素だというような御意見をいただきました。説明がやっぱりないと次の長期計画審議会の方につながっていくというのは難しいかなというふうに思うので、やっぱり説明みたいなものをした方がいいのかなというふうに思います。

あと、渡邊先生が委員長でいらっしゃる関係性もあるのかなと思って私も感心しているのは、人口減少社会に向けて未来を考える上でITとかデジタルデバイトでしたっけ、そういったものが情報がない人たちが困っているということに対して、例えば生まれたときからITに触れている子どもが大人又はお年寄りに教えたりとか学び合いをしたりだとかいうこともおもしろかったし、やっぱり人口減少社会に向けてそういうIT関係も避けては通れないので、実際にこの審議会でも話し合われたようなことを直に伝えていくような形がいいかなあというふうに思いました。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。今日出た意見の中で3本柱になるか、4本柱になるか調整しなければならないですけど、4本柱になるとすれば松本委員が言われた本当にやろっぜって感じの長期計画、市民全体がですね、そういう取組をしなければならないと。コンサル頼みではなく、市民及び行政が協働して10年後を目指そうよというやり方も入れた方がいいかなという気がちょっとします。

あと、もう一つはざっくり書いているわけなんですけど、前回までの細かいキーワードがいろいろあって、そのキーワード自身はきちんと整理した格好でバック資料として長期計画審議会へ出されることになるのだろうというふうに理解しております。

もう一巡、いかがですか。

◎鴨下委員 感想が後のところであると思うんですけど、何か計画をして進めていくというときにイメージやビジョンは非常に大切だと思います。中身を作っていく人たちは別にいるわけなので、そのビジョンを提案できればいいかなと思います。

◎渡邊委員長 他に何か意見はございますか。なければ、今出された意見をもう少し整理して、市長の方へ意見書を提出するということになるんですけど、委員会の中で細かくやるというのも大変なので、よろしければ正副委員長にチェックを任せさせていただきたいと思いますが、そういうことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 では、そういう格好でまとめさせていただきたいと思います。と言いつつも事務局の力を借りないとなかなか大変だと思うのでよろしくお願いします。

だから、今日言われたことのポイントは松本委員の言われた長期計画を本気でみんなでやろうぜっていうような雰囲気的项目が一つほしいねってことですよね。それから目指すべき小金井市のイメージとしてざっくり6つの分野で書いてあるんだけど、同じような表現を整理することと、この背景になったいろいろな言葉があるので、あれを参考資料か何かでまとめたらいいのではと。小宮委員の言われた肉付けですね。

◎梅原企画政策課長 そうですね。この場で話し合っていたいただいたイメージが伝わりやすくなるような形で整理させていただきたいと思います。

◎渡邊委員長 そういう格好で整理させていただきたいと思います。

◎渡邊委員長 次に、議題2「今年度の委員会を締めくくるに当たっての感想について」を議題とします。

皆さんにこの委員会に御足労いただいたわけですけど、何でもいいですから御発言いただければと思います。

◎本間委員 欠席が何回かあって意見をお出しすることができずに御迷惑をおかけしました。前回から今回に入って、また発展的な内容だったのでとても勉強になりました。40項目ぐらい考えさせていただいて、皆さんの意見、前提となる今の現状というのがすごくわかって、非常に有意義な会議でした。ありがとうございました。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。次は是非それを市の方に返してください。

次に小宮委員、いかがでしょうか。

◎本間委員 私も欠席が多い立場で皆さんとじっくりお話しできなかった部分があるんですけど、こういうところに出てくる方々は皆さん活発だなというふうに私は思っています。私は前々から労働組合のリーダーというか、そういう立場でやらせていただいていたいて、発言を求めてもなかなか委員の方々からいただくことが難しい中において、やはりこういうところの場で積極的に発言されている方を見ますと、こういう発言ができる場というのは非常にいい場所だと思います。

私もこういう立場でなければ、こういう会があるとかいうのが分からないというところもあると思うので、私もこれから後世に伝えていくというわけではないですけど、私のこの立場もずっと続ける職ではないので、それをいかに若い方へつなげていくのか、今後も引き続き委員はやらせていただきますが、そういう中で見えない方に伝える役割というのも何となくこのメンバーがやっていかななくてはならないのかなと思いつながらやっております。また来年度もしっかりと参加させていただきます。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。松本委員、お願いします。

◎松本委員 委員長から言われて教育（今日行く）とか教養（今日用）が大事だというのを思い知りましたので、今日、行くところという意味で審議会には参加させていただいているんですけど、市民の税金で報酬をいただいていますから、報酬をいただく以上に働かなければならないなということで、絶対に発言をしていかなければならない、むしろネガティブな発言することに意義を求めてやってきたという経緯があったので、かつ私が公務員OBなものですから、市役所の皆さんには迷惑な親近感を持っていまして、ついついいろんなことを言ってしまうと不愉快な思いばかりをさせてきたんじゃないかと思えますから、そこはお詫びをしておきたいと思えます。

それからいろいろと勉強させていただきました。材料をいろいろといただき、考える材料もあり、与えられたテーマがあったのでいろいろと考えてきました。やはりこれからの市民生活ってどうなるんだろうなって自分に引き寄せて考えてみると、今は体が動いていますからいい街だなあということで住んでいます、もう少し年をとってきたらまた違うことを考えていくと思うんですね。もうちょっと自分自身がいろんな立場に立って考えるようにしていくことも必要だと思っていますので、このいただいている資料にもいろいろ出てきていますけど、一体上位概念って何だろうかと、最近考えているところです。ここ数日のテレビなんかを見てますとコンビニで子どもがいろいろとやっていますよね、日本人としてのお互いの信頼感、信頼し合って生活できるっていう足場が崩れているのではないのかなというふうに最近の状況を見て思っています、別に今に始まったことではないとか、あるいは安い給料で働かせてとかいろんな意見を言うコメンテーターがいっぱいいるんですが、昔はお互いに信頼し合いながら、ある程度信頼し合いながら生活圈を作ってきたのが今、損なわれつつあるというのから考えてみると小金井市のこれからのあるべき姿においても信頼し合えるまち、住民がお互い同士信頼し合う、それから市役所を信頼できる、市役所の職員を信頼できるというような信頼って言葉が何かキーワードの一つになり得るなあというふうに思います。信頼と言っても泥棒さんから見れば信頼できる人間というのは見張りをきちんとやるのが信頼できる人ですから、そこは多義語なので難しいんですけど、漠然とみんなが思うような信頼し合えるというのも一角に入れてもいいのではないのかなあという気もしています。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。まさに連携と愛着ですね。

◎松本委員 なかなか言葉は難しいですね。哲学的な分析に耐えられるかどうかというの

難しいんですけど。

◎渡邊委員長 橋田委員、お願いします。

◎橋田委員 この委員会で毎回話している内容が自分には難しい内容が多かったなということとふだん生活している中で小金井市について思うことと言えば、この道幅が広くならないかなとかこの空き家もったいないなあとか小さなことが多くて、ただここで話し合われることはイメージのようなものが多かったんですけど、例えば今日の意見書みたいものについてこれから計画を立てるということなんですけど、ここから計画を立てて具体的にできたものがどういうことになるのかというのが想像がつかないというか、逆に見てみたいというようなことを思っています、実際にこういう場に係わりがないので、本当にこういうのから完成したものがどういうものになるのかっていうのに興味があるというか、この意見がこういうところに反映されているというのをできたもので感じることはできたら、ちょっと話していたことがこういう形で実現されるんだっていうことが分かっていいかなと思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。次に鴨下委員、お願いします。

◎鴨下委員 毎回の時間が貴重な時間で皆さんの話が聞けて非常に勉強になりました。30年後が楽しみです。果たして私がここに住んでいるんだろうかと思っています。

◎天野委員 この審議会に進め方というか、なかなか分かりにくくなっちゃったかなというところが非常に反省するところです。どうしてこういう議論をしていただいているのかとか背景とかもうちょっと分かりやすく説明してもっと皆さんの意見が出やすいような関係が作ればよかったというふうに思っています。ただ、今回、審議会であまり行ったことがない、恐らく初めてだと思うんですけど、ワークショップをやったじゃないですか。そのときは議事録も省略しましたが、そういったところで自由な意見とかおもしろい意見とかいうようなものが出て、それはよかったなというふうに思っています。それで橋田委員から御発言がありましたが、ワークショップをやってよかった、いろんな意見が出てきた、市民の自由な意見が出てきたものをどう反映して結果としてこういうところに表れていますよということができれば、それが本当の市民参加だと思うので、我々としてもこの審議会でもういろいろ意見をこういう形で反映しているんですよみたいなことが成果として出せるようにこれからやっていきたいと思っています。

それから松本委員から我々の先輩ということでいろんな意見をいただきました。最近上位概念を考えているということも言われて、私もそういうことを改めて考えていたんですね。地方自治法の中で我々の使命というのは住民福祉の増進というのが規定されていて究極の目標というのはそういうことだと思っていて、第4次基本構想はその住民福祉の増進という言葉だと市民にとっても分かりづらいということで市民のしあわせの増進に言い換えて目標として定めています。だから我々がいろんな仕事をしているんだけど、究極の理念、概念、目標というのは住民福祉の増進であり市民のしあわせの増進であるということなのかなということであり

信頼というキーワードを追加いただきました。いいキーワードだと思うし、そういうような人と人とのつながりだとか信じ合えるようなまち、そういうまちが残っていくまちであったりだとかこれから人口減少社会に向けて人と人とのつながりがなくなっていく中でのキーワードだったりするのかなというふうに思います。犯罪がないまちがどういうまちかというところと *face to face* の関係があったりだとかいろんなイベントで顔を合わせたりとかソーシャルキャピタルという言い方もあるけれども、そういったものが醸成されているまちというのが安全・安心であったり、犯罪のないまちであったり、やさしいまちであったりするのかなというふうに聞いていて思いました。

それから、私もなかなか30年後はピンとこないし、人口減少社会と言っても小金井市は人口が12万人という形で増えています。なので、それをどういう形にぎわいのあるまちを30年後も維持していくかという難しい話を皆さんにお願いしたわけですけど、やはりなかなかピンとこない部分があって、自分なんかも30年後どうなのかというふうに考えても現状の固定概念というのがあり、そこからなかなか抜け出せない部分があって、その中でもワークショップでいろんな突飛なような話も出たりしたんですけど、そういうところが市民参加のいいところなので、そういう部分を生かしていきたいと思うし、先ほど松本委員の方から策定プロセスの中で市民参加を取り入れてはどうかということもあったので、その策定プロセスなんかについてもこの委員会のところでも改めて、これまでも我々としては市民参加を心がけており、今度は特に人口減少社会に向けての分岐点という意味合いも込めて子どもとか若者の意見を意識的に聞いていこうという形で職員の方も取り組んでいます。なかなか若者の市民参加って永遠のテーマであったりなかなか難しかったりするけど、この一番最上位計画を今後作っていく中で次世代に責任を持つという意味においてもそういう若い人たちの意見を聞いていくというようなことを心がけていきたいと思うし、改めてこの審議会でも言っていただけるといいかなあというふうに思います。

◎渡邊委員長 最後に私の方から感想を述べさせていただきます。いいメンバーに恵まれて、たいへん楽しい委員会でした。なかなかうまくシェアできないことがあったことはお詫び申し上げます。30年後の小金井っていうテーマを与えられて最初に考えたのが30年前でした。30年前は携帯電話がなかった。今は携帯電話やスマホがないと生きていけないとまでは言いませんけど、それに近い状況であると。これから30年後を考えたときに今の勢いを見るとちょっと想像できない。本当に人工頭脳が人間の知能を超えることが現実になるかもしれないということを想定しながら、やはりそういう技術に対して市民全体が学んでそういうものに一緒についていけるまち、行政としては市の職員が教えるというより天野委員がおっしゃられたように小さいころからゲームでパソコンに慣れている人が我々高齢者を教えるというようなことを通してでも、とにかく市全体がそういうITとかAIについていって高齢者なりみんながそんなことでもやっていかないと何かすごい格差が出ちゃうなど。まさにデジタルデバイドって呼ばれる、情報処理ができないためにすごく不利益を被る人が出てくるから、

それだけは防がないといけないというのが私の主張でした。

もう一つがやはり地元に住んでいると地元の良さが見えないということがあって、たまたま私の田舎が岩手なもので、しかも岩手の市の関係の仕事もやらされてるものですから、その立場に立ってみると小金井ってすごく魅力的なまちだねって、大学が3つもあるじゃないかと。向こうは大学が1つもない。本当にのどから手が出るくらい大学がほしいと言っているんですね。そういうことを考えると、いろんな視点から見ると小金井ってすごく魅力的な潜在力を持ったまちだなという感じがずっとしていました。

あとはお祭りというのは企画する人が一番楽しいんです。お祭りがあるから参加しに行く人はあんまりおもしろくないんですね。何でもそうだと思うんですけど、やはり企画して参加する。やっぱりたいへんなんですけど、喜びがそこにあるということだと私は思ってます、是非せいかくここに参加された皆さんですから、小金井のいろんなイベントに参加して楽しんでいただきたい。それで、楽しむ中で小金井をさらに良くしていただきたいと思います。

松本委員から御意見が出ましたけど、おかげで私も勉強しました。本を2冊ぐらい購入して読んだんですけど、ありがとうございます。松本委員のアドバイスはすごく私にとって刺激的で勉強になりました。

以上で議題2を終了します。

◎**渡邊委員長** 次に、議題3「次年度委員会の開催について」を議題とします。

今年度の委員会は6回開催しましたが、この委員会のミッションは元来、計画の進捗度合いをチェックする委員会ですので、次年度は以前の年3回開催の形に戻ると思います。また、ちょうどそのころに長期計画審議会が設置され、走り出すと思います。

次年度の委員会の開催について、事務局からの説明をお願いします。

◎**古賀企画政策係長** 今年度の委員会は本日で最後となります。委員の皆さんの任期は平成32年3月31日までとなっておりますので、次年度の委員会にも委員として御出席いただくこととなりますが、次年度の委員会については従来年3回開催に戻ります。

なお、次年度の開催日等の日程調整につきましては来年度に入ってから行いたいと思います。具体的には開催候補日をメールにてお知らせし、委員の皆様方が一番多く御出席いただける日に開催したいと考えております。

また、来年度につきましても事前に1回目の委員会開催前に評価シートの作成を依頼させていただきます。具体的には6～7月頃になると思いますので、よろしくをお願いします。

◎**渡邊委員長** 事務局からの説明に対し、御質問等はございますか。

(「なし」の声あり)

◎**渡邊委員長** 以上で議題3を終了します。

以上で本日の議題はすべて終了しました。おつかれさまでした。

(午後 7 時 4 2 分閉会)